

合わせて年間10万トンのリサイクルする再生メーカー4社とSuMPOが進める 再生プラスチック資源価値創造プロジェクト

循環資源への転換 時代は“サステナブル・プラスチック”へ

石塚化学産業株式会社



1954年にプラスチック再生メーカーとして創業以来、約70年間再生材の製造販売を行って参りました。長年培ってきた豊富な知識や経験、バージンコンパウンドで高めた物性改良・安定化技術で安心した再生材を提供させていただきます。



代表取締役会長
石塚 勝一

安心して使える再生材料の追求

2019年に国が発表した「プラスチック資源循環戦略」で、“プラスチックの再生利用を2030年までに倍増”をマイルストーンに掲げ、その後様々なお客様からお問い合わせを頂いております。そこで気づいたことは、お客様が再生材に不安を感じていることです。

これからの循環型社会においては、再生プラスチック材が汎用的な素材として使われる必要があると思われ、その不安を払拭するため、再生メーカー4社が集まり議論を重ねて参りました。【SPC認証*】により品質、安全性、環境的価値、供給の安定性の確からしさを追求したより安心できる再生プラスチック材の供給を行って参ります。



ISONO いその株式会社

創業以来67年に亘りプラスチックの再生事業を行っています。お客様の要求レベルに合わせた配合処方を行い、再生材料の品質と量の安定供給能力で、お客様の様々なプラスチック分野におけるサーキュラーエコノミーに貢献しております。

「今こそ地球に恩返し」が当社の企業理念です。周りの全ての命や資源に深く感謝する。そして限りある資源を大切に再利用することで、未来へつなげていこうという考えです。この理念のもと、当社は廃材となったプラスチックを独自の技術によってよみがえらせるリサイクル材を製造しており、自動車廃材からの Car to Car 事業を展開しています。

資源を有効利用し、プラスチックを再び自動車部品等へ還元するビジネスモデルを通じて地球環境に貢献しています。



代表取締役社長
磯野 正幸

株式会社近江物産



■1977年創業以来、国内循環にこだわり。■物性測定により、安定した高品質の確保。■ニーズに応じた再生プラスチック原料の提供。■目に見える安心・安全。■CO₂排出削減貢献。北海道から九州に自社工場および協力会社のネットワークを持ち、全国から資源プラスチックのリサイクルを行っています。



代表取締役会長
芝原 茂樹

「材料メーカー」として目指す「価値あるモノづくり」

「対話の中から発見をコーディネートできる企業」をモットーに私たちは全てのお客様と向き合い、最適な再生プラスチック原料を提案・解決する、頼れる企業を目指します。

充実した分析装置を持ち、品質や生産管理を徹底することで高品位再生プラスチック製品を実現、自動車部材や住宅関連部材に採用が進んでいます。

再生材ながらバージン品に迫るスペックを実践する近江物産。今後はさらなる品質向上、普及拡大を進めます。



株式会社タイボー

■1967年創業。■1972年「紡績」から「繊維」のマテリアルRecycle事業に転身。■1977年「軟質PVC」そしてオレフィン系プラスチックのマテリアルRecycleに着手。分別/ストック/回収の「再生資源」化から、粉碎/洗浄/分離/均質化等、独自の設備、加工技術等で「再生原料」化、設計/配合等で「成型用材料(コンパウンド)」化、「成形」までワンストップで対応する「メーカー」です。

「資源循環設計」を!

TAIBOは、もう1度成型製品に利用するための再生コンパウンド化はもちろん、軽い、強い、錆びない、腐らない、プラスチック本来の特徴を生かした新たな成型製品でリサイクルの用途をたくさん創ってきました。しかもライフサイクルは30年以上とか・勿論不要になればまたリサイクル! 日本初一般廃棄物から回収する使用済み容器包装プラスチックのマテリアルリサイクルを実現したのもTAIBOでした。

2030年に、プラスチックの国内循環を倍増させるのが目標!

現在4社で年間10万トンのリサイクルする再生メーカー4社の実績とSuMPOの業(わざ)でSPC認証*を展開します。



代表取締役社長
平野 二十四

*SPC:Sustainable Plastics Certification

一般社団法人サステナブル経営推進機構(SuMPO)

「持続可能な社会づくり」、「共創」、「業の研鑽」を柱に、心豊かな未来の実現、社会課題解決を中立的かつ公平・公正な立場で目指し、以下を中心とする事業を展開しております。

- サステナブル経営支援
- ライフサイクルアセスメント(LCA)コンサルティング
- EPDプログラム(SuMPO環境ラベルプログラム)

地球環境劣化が止まりません。原因となる地下資源依存をやめ、地上資源を活用した資源循環型社会(SX)への転換が必要です。我々は、使用済みプラスチックを「廃棄物」ではなく、「循環資源」として再認識し、消費者や事業者の皆様が安心して使い続けただけの再生プラスチック、名付けてサステナブル・プラスチック(SP:Sustainable Plastic)の認証制度をこのたび開発いたしました。

今後、ブランドオーナーやプロダクトメーカー様等とも連携し、早期に社会実装できることを夢見てさらに前に進みます。

専務理事 壁谷 武久



問い合わせ先
SX戦略事業部
連絡先: info@sumpo.or.jp

